

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和7年(2025年)3月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																										
道路編 303 道路維持修繕工 運用資料 303-060 わだち掘れ補修工	道維 -7	303-060 わだち掘れ補修工  1. 適用範囲 本資料は、機械施工による連続的に発生するわだち掘れ補修工事のレール舗設に適用する。 なお、レール舗設とは車線中央部を舗設せず、左右損傷部のみを舗設する場合とする。  2. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。  表2.1 機種の選定 <table border="1" data-bbox="439 571 1153 675"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> </tr> </tbody> </table> (注) 機種の選定にあたって現場条件により、上表により難しい場合は、現場条件に適した機種、規格を選定する。	機 械 名	規 格	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	303-060 わだち掘れ補修工  1. 適用範囲 本資料は、機械施工による連続的に発生するわだち掘れ補修工事のレール舗設に適用する。 なお、レール舗設とは車線中央部を舗設せず、左右損傷部のみを舗設する場合とする。  2. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。  表2.1 機種の選定 <table border="1" data-bbox="1234 571 1960 675"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> </tr> </tbody> </table> (注) 機種の選定にあたって現場条件により、上表により難しい場合は、現場条件に適した機種、規格を選定する。	機 械 名	規 格	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	排出ガス対策型の改定  (第1次基準値廃止に伴う改定)																										
機 械 名	規 格																																													
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級																																													
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t																																													
機 械 名	規 格																																													
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 2.0~4.5m級																																													
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t																																													
	道維 -8	4. 機械運転単価表 <table border="1" data-bbox="750 858 1171 957"> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX028000</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX026000</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX026100</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="452 965 1115 1137"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m級</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> </tbody> </table>	アスファルトフィニッシャ	施工単価コード	DX028000	ロードローラ	施工単価コード	DX026000	タイヤローラ	施工単価コード	DX026100	機 械 名	規 格	適用単価表	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m級	「108機械工による」	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	「108機械工による」	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	「108機械工による」	4. 機械運転単価表 <table border="1" data-bbox="1541 858 1962 957"> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX028000</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX026000</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>施工単価コード</td> <td>DX026100</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1240 965 1912 1137"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型2.0~4.5m級</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> </tbody> </table>	アスファルトフィニッシャ	施工単価コード	DX028000	ロードローラ	施工単価コード	DX026000	タイヤローラ	施工単価コード	DX026100	機 械 名	規 格	適用単価表	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型2.0~4.5m級	「108機械工による」	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	「108機械工による」	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	「108機械工による」	排出ガス対策型の改定  (第1次基準値廃止に伴う改定)
アスファルトフィニッシャ	施工単価コード	DX028000																																												
ロードローラ	施工単価コード	DX026000																																												
タイヤローラ	施工単価コード	DX026100																																												
機 械 名	規 格	適用単価表																																												
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m級	「108機械工による」																																												
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	「108機械工による」																																												
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	「108機械工による」																																												
アスファルトフィニッシャ	施工単価コード	DX028000																																												
ロードローラ	施工単価コード	DX026000																																												
タイヤローラ	施工単価コード	DX026100																																												
機 械 名	規 格	適用単価表																																												
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型2.0~4.5m級	「108機械工による」																																												
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	「108機械工による」																																												
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	「108機械工による」																																												

## 303-060 わだち掘れ補修工

### 1. 適用範囲

本資料は、機械施工による連続的に発生するわだち掘れ補修工事のレール舗設に適用する。  
なお、レール舗設とは車線中央部を舗設せず、左右損傷部のみを舗設する場合とする。

### 2. 機種の選定

機械・規格は次表を標準とする。

表2.1 機種の選定

機 械 名	規 格
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 2.0～4.5m級
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10～12t
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20t

(注) 機種の選定にあたって現場条件により、上表により難しい場合は、現場条件に適した機種、規格を選定する。

### 3. アスファルト混合物の舗設及び締固め

#### 3-1 舗設及び締固め歩掛

303-060-01 舗設・締固め(わだち掘れ補修工)

施工単価コード
---------

DX226000
----------

舗設及び締固め歩掛は、次表とする。

表3.1 舗設及び締固め歩掛 (100m<sup>2</sup>当り)

名 称	単 位	数 量	適 用
土 木 一 般 世 話 役	人	0.1	
特 殊 作 業 員	〃	0.2	
普 通 作 業 員	〃	0.5	
アスファルトフィニッシャ運転	h	0.4	
ロードローラ運転	〃	0.4	
タイヤローラ運転	〃	0.4	
アスファルト合材	m <sup>2</sup>	107	
諸 雑 費 率	%	24	

(注) 1. 本歩掛は、清掃・準備・瀝青材散布・後片付けの労務を含む。

2. 諸雑費は、瀝青材散布機械及び瀝青材、舗装用器具(レーキ、スコップ、バーナ、コテ、竹ぼうき、粘着テープ)及び加熱用燃料等の費用であり、労務費(舗設労務費)、運転経費(舗設及び締固め運転費)及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

### 3-2 アスファルト混合物の設計密度

アスファルト混合物の設計密度は、次表を参考とする。

表3.2 加熱アスファルト混合物の締固め後密度(参考) (t/m<sup>3</sup>)

種 別	車道・装甲路肩
細粒度アスファルト混合物	2.25
細粒度ギャップアスファルト混合物	2.30
密粒度ギャップアスファルト混合物	2.35
粗粒度アスファルト混合物	2.35

### 3-3 アスファルト合材の使用量

アスファルト合材の使用量は、次式による。

使用量 (m<sup>2</sup>) = 設計面積 (m<sup>2</sup>) × (1 + ロス率) ※厚さは合材単価に乗じる。

表3.3 ロス率

種 別	歩 車 道 区 分	ロ ス 率
アスファルト混合物	車道及び路肩	+0.07

(注) 1. ロス率は、材料ロスに対する補正である。

## 4. 機械運転単価表

アスファルトフィニッシャ

施工単価コード	DX028000
---------	----------

ロードローラ

施工単価コード	DX026000
---------	----------

タイヤローラ

施工単価コード	DX026100
---------	----------

機 械 名	規 格	適用単価表
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型2.0~4.5m級	「108機械工による」
ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12t	「108機械工による」
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	「108機械工による」